

学位論文提出の手引き

(修士)

帯広畜産大学大学院畜産学研究科
博士前期課程

I. 修了要件

畜産科学専攻博士前期課程は2年以上在学して30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。また、「修士（畜産衛生学）」の学位を取得するためには、畜産衛生学位プログラムの学位取得要件に従って32単位以上修得する必要がありますのでご注意ください。

ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間を短縮し早期修了を希望することができます。

(大学院学則第16条の2、学位取扱細則第2条、早期修了取扱規程、早期修了取扱要領)

II. 学位論文受理の条件

学位論文の受理の条件は以下のとおりです。

次の(1)～(3)をすべて満たしていなければなりません。

- (1) 学位論文を提出しようとする学期の末日（3月31日又は9月30日）までに、所定の在学期間（2年）以上の在学期間を有していること、若しくは、早期修了を認められていること。
- (2) 授業科目について、修了要件単位（動物医科学／農学＝共通コア6単位、英語2単位、コース必修14単位、コース選択4単位以上を含めて30単位以上、畜産衛生学＝共通コア6単位、英語2単位、コース必修10単位、プログラム必修4単位、プログラム選択必修4単位、プログラム選択6単位以上）を修得または修得見込みであること。
- (3) 学位論文は、原則的に単著で、主指導教員により不正引用がないことが確認されていること。

III. 学位申請期日

学位申請期日は、3月学位授与の場合は1月末日ごろ、9月学位授与の場合は7月10日ごろです。年度の暦により前後しますので、必ず、年度始めに大学が公表する学位申請関係日程を確認してください。

なお、提出先は入試・教務課教務係です。(学位取扱細則第3条)

IV. 学位申請提出書類

提出書類	様式	提出部数
①学位論文審査願	別記様式第1号	1部
②論文目録	別記様式第4号	4部
③学位論文要旨	別記様式第5号	4部
④学位論文		4部

※上記②、③の部数は、学位審査委員が3名の場合の部数です。3名を超える場合は、「学位論文審査委員の人数＋1」部を提出してください。

(国立大学法人帯広畜産大学大学院畜産学研究科学学位取扱細則第4条)

V. 学位論文審査及び最終試験

1 学位論文審査

- (1) 学位審査委員会の審査委員予定者の選考は、原則として主指導教員が行い、大学院教育部会議が決定します。
- (2) 学位審査委員会は、主査1名、副査2名以上の計3名以上の審査委員により構成されます。主査は、当該課程の主指導資格を有する教授、准教授または講師のうち、原則として、主指導教員以外から選出されます。

- (3) 学長は、学位申請者から提出された学位論文について、大学院教育部会議の議を経て受理の可否を決定します。正式に受理された学位論文は、大学院教育部会議にその審査が付託されます。
- (4) 大学院教育部会議は、論文ごとに学位審査委員会を設置します。
- (5) 学位審査委員会は、主査が主催者となり、原則として公開による審査会を実施します。
- (6) 公開審査会は、申請者による学位論文の口頭発表と質疑応答により行います。
- (7) 主査は、副査と協議の上、論文審査結果を「学位論文審査の結果の要旨」により取りまとめ、学長に提出します。

2 最終試験

- (1) 学位審査委員会は、学位論文を中心として関連のある科目または専門分野等について、口述又は筆記により最終試験を実施します。
- (2) 主査は、副査と協議の上、最終試験の結果を「最終試験の結果の要旨」により取りまとめ、学長に提出します。

VI. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

○各コース共通のポリシー

帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）では、教育課程で定められた授業科目を履修して所定の修了要件単位を修得し、動物医科学、家畜生産科学、環境生態学、食品科学、農業経済学、農業環境工学、植物生産科学等の農畜産学分野及びその学際分野における最新の知識と技術を駆使し、「食の安全確保」をはじめとする農畜産学に関する問題解決型の高度な研究能力と幅広い見識を備え、以下の能力を身につけた人に学位を授与します。

1. 倫理観
社会通念上や専門家として相応しい倫理観、道德観を身につけている人
2. 課題設定・解決力
グローバル化を背景とした生命・食料・環境の分野の課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力
国際感覚を備えた思考・判断の過程を説明するために必要なプレゼンテーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術
獣医・農畜産融合の視点から、本専攻に配置された各コースに関する高度専門職業人としての知識と技術を身につけている、または同コースの課題に関する研究者としての基礎的な能力を身につけている人

[畜産衛生学位プログラムのディプロマ・ポリシー]

畜産物をはじめとする食品の国際安全衛生基準での衛生管理・品質保証に関する高度かつ総合的な知識と技術を有し、優れた実践力及び応用力を身につけている人に修士（畜産衛生学）の学位を授与します。

○各コースのポリシー

[動物医科学コース]

1. 倫理観：動物医科学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道德観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：動物医科学分野における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、動物医科学分野について、自身の思想や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人

4. 専門的知識・技術：基礎生物学や農畜産学の知識を土台に，基礎動物医科学，動物病態学，動物感染症学，病因制御学，さらに動物臨床科学等動物医科学に関する幅広い専門知識とそれを社会において応用，発展させていく能力を身につけている人

[家畜生産科学コース]

1. 倫理観：家畜生産科学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：畜産や生命科学分野における課題を自ら設定し，それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で，家畜生産科学分野について，自身の思想や意見を的確に表現し，意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：家畜の生理や行動を理解しそれを遺伝的改良や生産性の向上へと繋げる基礎から応用までの体系的な知識と技術を身につけている人

[環境生態学コース]

1. 倫理観：環境生態学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：環境生態学における課題を自ら設定し，それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で，環境生態学分野について自身の思想や意見を的確に表現し，意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：環境を構成する様々な生命体の役割と機能，相互作用，及び生態系の保全・管理・利用に関する包括的かつ体系的な知識と技術を身につけている人

[食品科学コース]

1. 倫理観：食品科学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：食品科学における課題を自ら設定し，それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で，食品科学分野について，自身の思想や意見を的確に表現し，意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：農畜産物の加工・利用及びそれらの機能性・安全性についての高度な知識と技術及び応用力を身につけている人

[農業経済学コース]

1. 倫理観：農業経済学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：農業経済学における課題を自ら設定し，それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で，農業経済学分野について，自身の思想や意見を的確に表現し，意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：地域の資源を利用し，食料の生産性向上や食の安全を支えるための農業経済に関する高度な知識と技術を身につけている人

[農業環境工学コース]

1. 倫理観：農業環境工学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身

- につけている人
2. 課題設定・解決力：農業環境工学における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
 3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、農業環境工学分野について自身の思想や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
 4. 専門的知識・技術：地域の資源を利用し、食料の生産性向上を支えるための生産技術や環境制御に関する高度な知識と技術を身につけている人

[植物生産科学コース]

1. 倫理観：植物生産科学の知識や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観・道徳観を身につけている人
2. 課題設定・解決力：植物生産科学における課題を自ら設定し、それに対する解決能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力：他者の思想や意見を尊重した上で、植物生産科学分野について、自身の思想や意見を的確に表現し、意見を交わすためのプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術：地域の資源を利用し、食料の生産性向上を支えるための食料生産原理や生産技術に関する高度な知識と技術を身につけている人

VII. 学位論文審査基準

修士学位論文は、申請者が主体的に行った研究の成果をとりまとめ、日本語または英語で記載したものでなければならない。この論文について、研究科、専攻およびコースのディプロマポリシー（学位授与方針）に基づき、以下の観点を検討に入れて評価する。

1. 論文内容に合った適切なタイトルがつけられている。
2. 序論（背景・目的）、方法、結果、考察、図表、引用文献を含む適切な章立てがなされており、修士学位論文としての体裁を整えている。
3. 先行する研究に関する情報が十分に調査・分析され、研究の背景および目的が明示されている。
4. 実施した研究方法が適正であり、具体的かつ明確に記述されている。
5. 得られた結果の内容が、文章、図表などとして適正で分かりやすく表示されている。
6. 結果について深く読解・考察されており、結論に至るまでの論旨が論理的に展開されている。
7. 新規性・独創性の高い研究内容が含まれている。
8. 関連研究等に関する文献の引用が適正であり、剽窃や無断引用を含む研究倫理の問題に対して十分な留意がなされている。

VIII. 学位授与の可否

学位論文審査及び最終試験の審査結果は学長に報告され、学長は、この審査結果を基に、教授会（実質的には教授会の代議員会である大学院教育部会議）の意見を聴いて最終的な学位授与の可否を決定します。

IX. 学位論文の保管について

審査終了後、提出された学位論文は本学図書館において蔵書用として保管されます。

【学位申請書類の作成要領】

I 学位申請時の学位論文

- 1 学位申請用の学位論文は、クリップ等で仮綴じし、学位審査委員会委員の数+1部を提出してください。(学位審査委員会委員が4名の場合は、5部提出)
- 2 使用する言語は、日本語又は英語とします。部分的にラテン語その他の言語を使用することはさしつかえありませんが、その場合は意味を明示してください。
- 3 用紙は、A4判の上質白紙とし、必ずワープロソフトを使用して作成し、印刷する場合は必ず片面印刷にしてください。なお、日本語の場合は、必ず左横書きとします。
- 4 本文におけるフォントサイズ、字数、行数等は、おおよそ次のとおりとしてください。
和文論文：フォントサイズ11-12ポイント、36-40文字/行、32-40行/ページ
英語論文：フォントサイズ10-11ポイント、字送り10-11ポイント、32-40行/ページ
※ただし、和文・英文とも、説明文など、より分かりやすい表現のために字体や大きさ等を部分的に混ぜて使用する等はさしつかえありません。
- 5 表紙、表題紙、目次を除く、ページ下部中央にページ数を付してください。
- 6 表紙および表題紙は、次のとおりとしてください。
 - (1) 表紙は、和文論文は和文で、英語論文は英文で書く。
 - (2) 和文論文の場合、和文の表紙に続いて英文の内表紙(表題紙)をおく。英語論文の場合は、英文の表紙に続いて和文の内表紙(表題紙)をおく。
 - (3) 表紙及び表題紙には、論文題目、修了年号、研究科名、課程・専攻名、大学名及び著者名を記入する。
 - (4) 論文題目は、できるだけ簡潔にし、必要に応じて副題(前後にダッシュ(-))を付すこと。また、和文では20ポイント以上、英文では16ポイント以上の文字を使い、英文の題目では、文頭と学名及び固有名詞の最初の文字のみを大文字とする。
 - (5) 修了年号は、年のみ記載すること(提出する年号ではなく修了予定の年号)。また、和文表紙は和暦とカッコ書きで西暦を記載し、英文表紙は西暦のみ記載する。
 - (6) 英文表紙における氏名の書き方は、「姓」「名」の順とし、姓はすべて大文字にする。

(表紙及び表題紙の例—A4判)

<p>北海道における農業の発展に関する研究</p> <p>令和〇〇年 (20〇〇)</p> <p>帯広畜産大学大学院畜産学研究科 畜産科学専攻博士前期課程 十 勝 未 来</p>	<p>Study on agricultural development in Hokkaido</p> <p>20XX</p> <p>TOKACHI Mirai Master's Program of Animal Science and Agriculture Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine</p>
---	--

- 7 論文の内容構成は、おおよそ次のとおりとしてください。
 - (1) 表紙、表題紙に続いて目次をおき、そのあとに本文をおく。
 - (2) 本文は、緒論・序論から始まり、複数の章からなる本論をおき、最後に総合的な考察 (General discussion, General conclusion) をおく。
 - (3) 本文に続いて、摘要や要約 (Abstract, Summary) 等の内容抄録と参考文献等をおく。
なお、和文論文の場合は英文の、英語論文の場合は和文の摘要または要約を付すこと。
- 8 論文の文法上の体裁は、原則的に次のとおりとしてください。
 - (1) 句読点等について、和文・英文ともに読点にはカンマ「,」、句点にはピリオド「.」を用いる。ただし和文では、ピリオドの代わりに「。」を使用してもよい。論文題目は主語・述語を備えた文章ではないので句点「.」や「。」は付さないこと。
なお、カンマの使用については、名詞の列挙以外では和文と英文とで使用方法が異なる (英文: 倒置や 'of' の省略, 主語・接続詞の後, 等) ので注意すること。
また、中黒点「・」は英文ではほとんど用いないので注意すること。
 - (2) 原則として、和文の動・植物名はカタカナ書き、英文での学名はイタリックとする。
 - (3) その他の英文における大文字の使用については、一般的なルールに従ってください。
 - (4) 本文におけるパラグラフは、和文は1字下げ、英文は5文字程度下げ又は1行空きの段落で始める。
 - (5) 英文における行末での分綴法 (文節法, syllabication) は、辞書の表示 (中黒点等が付してある) を確認して行うこと。
 - (6) 和文での「及び、および」「或いは、あるいは」「更に、さらに」「即ち、すなわち」等の使い分けについては、どちらも許されるが同一論文内では一定とするのが望ましい。ただし、どの場合においても、前後の漢字やひらがなの連続によっては読みやすいように工夫をすること。
 - (7) 「」, 「」, 「」…のような場合は、カンマを省き「」 「」 「」とする。
- 9 「まる写し」「引き写し」「コピー」は盗作 (剽窃) 行為であり、犯罪です。他の人の論文や文献、インターネット上の資料等から一部を引用する場合、必要最低限の引用にとどめ、必ず出典を明記すること。また、自分の論文を引用する場合でも、必要な部分だけを引用することを意識し、章をまるごと引用するようなことがないよう、十分に留意すること。
- 10 引用した文献等は「参考論文」としてまとめ、1) 著者または編者、2) 訳者、3) 書名、4) 出版社、5) 出版年、6) 引用ページを必ず明記すること。なお、インターネットからの引用については、少なくとも、i) 資料の名称、ii) 資料の発行年もしくは公表年 (分かる場合)、iii) URL、iv) 検索日を明記しておくこと。

II 論文目録 (別紙様式第4号)

論文目録は、記入例、備考欄の指示に従って記入してください。
なお、提出時には備考欄の指示の箇所は削除してください。

1 学位論文題目

題目が英語の場合は和訳を () 内に記入してください。

[英語での表記方法]

- (1) 最初の単語、固有名詞及び学名を除いては、小文字とする。
- (2) 学名は、イタリック体とする。

2 学位論文の基礎となる学術論文

基礎となる学術論文は、学位申請者が筆頭著者で、その内容が学位論文の一部を構成しているものをいいますが、修士学位論文の場合は必要ありませんので、通常は空欄のままにしておいてください。

3 参考論文

- (1) 参考論文とは、学位論文の基礎となる学術論文以外のもので、申請者が著者として加わって作成された学術論文をいいます。
- (2) 論文が未刊行の場合は、学術雑誌編集委員会から「学術雑誌第○巻第○号に掲載する」旨の証明書が交付されたものに限り、既刊として取り扱うので、証明書を必ず添付してください。論文が未刊行の場合は、発行年月の後に「(掲載証明付)」と記載してください。(発信元、日付が確認できるものであれば、FAX や E-mail の写しでも可)

III 論文要旨 (別紙様式第5号)

記入例、様式の備考欄の指示に従い記入してください。
なお、提出時には備考欄の指示の箇所は削除してください。

IV 提出書類の綴り方

- (1) 保存用 (1組)
次の順番に綴り、クリップ等で留めてください。
 - ① 学位論文審査願 (別紙様式第1号)
 - ② 論文目録 (別紙様式第4号)
 - ③ 学位論文要旨 (別紙様式第5号)
 - ④ 参考論文 (ある場合)
 - ⑤ 学位論文
- (2) 学位審査委員会委員用 (委員の人数分)
次の順番に綴り、クリップ等で留めてください。
 - ① 論文目録 (別紙様式第4号)
 - ② 学位論文要旨 (別紙様式第5号)
 - ③ 参考論文 (ある場合)
 - ④ 学位論文

V 提出書類の様式

次ページから掲載

別記様式第1号（第4条関係）（記入例）

学位論文審査願

注1：「提出」年月日

令和4年1月26日

国立大学法人帯広畜産大学長 殿

帯広畜産大学大学院畜産学研究科

畜産科学 専攻 博士前期 課程

学籍番号 20170099

注2：印鑑がない場合は必ず直筆で署名すること

氏名 十勝 未来 印

国立大学法人帯広畜産大学学位規程第5条第1項の規定により，修士（~~農学~~/~~動物医科学~~/~~畜産衛生学~~）の学位論文（4部及び電子ファイル）に下記のものを添えて提出しますので，審査願います。

注3：該当する学位の種類以外を削除もしくは二重取消線で消すこと

記

注4：学位論文審査委員の人数+1部を提出すること

- 1 論文目録
- 2 学位論文要旨

4部

4部

注5：主指導教員の直筆署名と押印が必要。印字は不可

主指導教員氏名

畜大 博士 印

Application for Thesis Evaluation

Note 1: The date of submission
Year / Month / Day

Date: 2022. 1. 26

To: President of Obihiro University of
Agriculture and Veterinary Medicine

Applicant

Master's Program of Animal Science and Agriculture

Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture

Note 2: Print the 'Name of Applicant'

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

Student ID: 20170099

Note 3: The 'Signature of the Applicant' must be handwritten; an E-signature is not allowed.

Name of Applicant: John SMITH

Signature of Applicant: John Smith

I am applying for the Master's degree (~~Agriculture / Veterinary Life Science / Animal and Food Hygiene~~) by submitting a thesis and the required documents/forms, in accordance with Section 1, Article 5 of National University Cooperation Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Degree Rules.

Note 4: Delete the specialty of the degree not being applied for by using a double line.

- 1 Thesis Index 4 sets
- 2 Abstract of the thesis 4 sets

Note 5: '1' and '2' should match the number of members of the Degree Committee plus one set.

Note 7: Handwriting should be expected for 'Signature of Main Advisor', E-signature cannot be allowed.

Signature of Main Advisor

Hiroshi Chikudai

別記様式第4号（第4条，第7条，第9条関係）（記入例）

論 文 目 録

学位論文

題 目 ウシ卵管と子宮の体外培養系における局所免疫応答
(The local immune response in bovine oviduct and uterus *in vitro*)

注1：題目が和文の場合は英文題目を，英語の場合は和文題目をカッコ書きで付すこと。題目には句点（”。”や”.”）は付さないこと

学位論文の基礎となる学術論文

題 目

著者名

学術雑誌名

(巻・号・頁)

発行年月

注2：修士論文の場合は必要ありませんので，通常は，削除せずに空欄のままにしておいてください

に発表・発表予定

(. . . ~)

年 月

参考論文

注3：参考論文とは，申請者が著者として加わった論文のこと。記載方法・印刷公表されていない場合は，掲載が決定した日付を記載し，「(論文掲載証明書)」と追記したうえで別途添付すること

題 目 Expression and localization of apelin and its receptor APJ in the bovine corpus luteum during the estrous cycle and PGF2 α -induced luteolysis

著者名 Suzuki Y, Tokachi M, Takeda Y, Chikudai H

学術雑誌名 Reproduction

(巻・号・頁)

発行年月

に発表・~~発表予定~~

(135 · 4 · 519 ~ 525)

2021年12月 (論文掲載証明書)

注4：学位論文，参考論文の英文題目の表記は，文頭の単語及び固有名詞の最初の文字のみ大文字
(例) Study on agricultural development in Hokkaido

注5：「提出」年月日

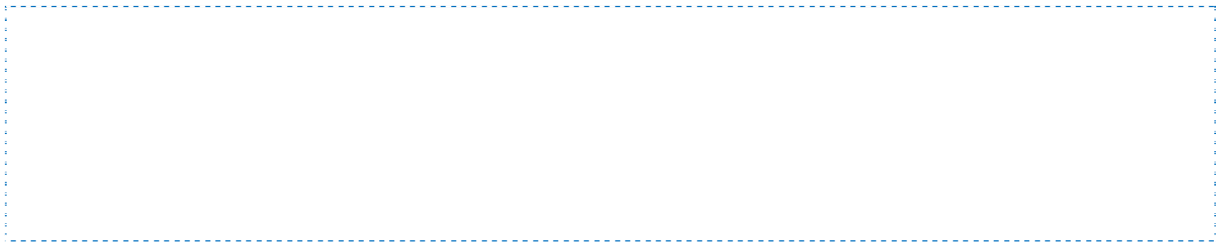
令和4年1月26日

注6：必ず，提出者本人が直筆で署名すること

注7：提出時には，この備考欄の文言は削除すること

学位申請者 氏名 (自署) 十勝 未来

- 備考
- 1 論文題目が外国語の場合には，() 書きで和訳を付すること。
 - 2 学術論文等が2種以上あるときは，列記し，現物に番号を付すること (博士論文)。
 - 3 修士論文については，学位論文の基礎となる学術論文および参考論文は要件ではないので記載は特に必要としない。



Form No.4

Thesis/Dissertation Index

Thesis/Dissertation

Note 1: Include a Japanese translation of an English title

Title: The local immune response in bovine oviduct and uterus *in vitro*
(ウシ卵管と子宮の体外培養系における局所免疫応答)

The Candidate's Supportive Academic Paper(s)

Title:

Note 2: This is not required for a master's thesis, so normally leave it blank but do not delete this field.

Author(s):

Academic Journal:

published • to be published

(Vol • No • Page)

(. . ~)

Date of Issue (Year/Month)

/

Reference Paper(s)

Note 3: Reference papers refer to academic papers of which first author or co-author is the candidate. If a paper has been accepted, but not yet published, write "(Certificate of publication attached)" and attach the certificate separately.

1. Title: Expression and localization of apelin and its receptor APJ in the bovine corpus luteum during the estrous cycle and PGF2 α -induced luteolysis

Author(s): Suzuki Y, Smith J, Takeda Y, Chikudai H

Academic Journal: Reproduction

published • ~~To be published~~

(Vol • No • Page)

(135 • 4 • 519 ~ 525)

Date of Issue (Year/Month)

2021/12 (Certificate of publication attached)

Note 4: Capitalize the first letter of the title and the first letter of a proper noun in the title of the thesis and all other papers.
e.g., Study on agricultural development in Hokkaido

Note 5: The date of submission
Year / Month / Day

Date: 2022. 1. 26

Note 6: The 'Signature of Applicant' must be handwritten; an E-signature is not allowed.

Signature of Applicant: John Smith

Note 7: Delete the box and text when submitting.

- Notes
- 1 Fill in the Japanese translation for an English in the (),
 - 2 If there are 2 papers or more, number each of them,
 - 3 It is not necessary to fill in for master's thesis.

別記様式第5号(第4条, 第7条, 第9条関係) (記入例)

学 位 論 文 要 旨

畜産科学 専攻 博士前期 課程

注1: 印鑑がない場合は必ず直筆で署名すること

学籍番号 20170099

氏 名 十勝 未来 印

論文題目: ウシ卵管と子宮の体外培養系における局所免疫応答

(The local immune response in bovine oviduct and uterus in vitro)

注2: 題目が和文の場合は英文題目を, 英語の場合は和文題目をカッコ書きで付すこと。題目には句点(“.”や“.”)は付さないこと。また, 英文の場合, 文頭の単語及び固有名詞の最初の文字のみ大文字とすること

要旨

注3: 日本語の場合, 1800~2200字で記載すること

備考 1 論文題目が英語の場合には, () 書きで和訳を付す。

2 博士論文については, 日本語の場合1800~2200字, 英語の場合1000~1400語とする。修士論文については, それ以下でもかまわない。

- 3 図表は、要旨には記載しないこととする。
- 4 枚数は1枚を超えても差し支えない。

注4：提出時には、この備考欄の文言は削除すること

Form No.5

Abstract of Thesis/Dissertation

Applicant

Master's Program of Animal Science and Agriculture

Note 1: Print the 'Name of Applicant'.

Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

Student ID: 20170099

Note 2: The 'Signature of Applicant' must be handwritten; an E-signature is not allowed.

Name of Applicant: John SMITH

Signature of Applicant: John Smith

Title : The local immune response in bovine oviduct and uterus in vitro

(ウシ卵管と子宮の体外培養系における局所免疫応答)

Note 3: Include a Japanese translation of an English title. Capitalize the first letter of the title and the first letter of a proper noun.

Abstract

Note 4: Write text between 1,000 and 1,400 words, when writing in English.

Notes 1. Fill in the Japanese translation for an English in the ().

[Entry example]

2. Abstract should be between 1,800 and 2,200 characters in Japanese, or be between 1,000 and 1,400 words in English.
3. Do not include figures and tables.
4. Abstract can be longer than one page.

Note 5: Delete the box and text when submitting.